

議会だより



主な内容

- ◆第2回臨時会及び第3回定例会
の開催結果 2ページ
- ◆審議結果一覧 5ページ
- ◆市政を問う、一般質問 6ページ
- ◆委員会行政視察報告 12ページ

■今号の表紙■

平成24年6月10日、日南市下方のハマボウ公園で水害に備えて土砂災害及び水防訓練が行われました。

《発行者》

宮崎県日南市議会 平成24年8月1日発行
〒887-8585 日南市中央通一丁目1-1
電話：0987-31-1142（直通）
FAX：0987-31-1778（直通）

【国民健康保険税の税率の比較】

区分	平成23年度	平成24年度	前年比
所得割	8.80%	9.30%	+0.50%
資産割	20.50%	21.00%	+0.50%
均等割	23,800円	25,000円	+1,200円
平等割	19,000円	20,700円	+1,700円

※上記は、国民健康保険税の基礎課税の税率です。
(平等割については、特定世帯以外の世帯の金額を掲載。)

- ・所得割…世帯の所得に応じて計算するものです。
- ・資産割…世帯の固定資産税に応じて計算するものです。
- ・均等割…世帯の国民健康保険加入者数に応じて計算するものです。
- ・平等割…一世帯にいくらと計算するものです。

第2回臨時会

平成24年度国保 税率が決まる!

第2回臨時会は、平成24年5月31日に開催されました。

平成24年度の国民健康保険税の税額確定のための「日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例」や「平成24年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」など、市長提出議案、報告などを審議しました。

報告

■専決処分の承認を求めるることについて（日南市税条例の一部を改正する条例）

■専決処分の承認を求めるることについて（日南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

■平成24年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

地方税法の一部を改正する法律が施行され、震災特例法に規定する被災居住用財産の敷地を譲渡した場合の長期譲渡所得の課税の特例となる譲渡期限が3年から7年に延長されたことに応ずる改正を行つたものです。

平成22年4月以降において発生が確認された口蹄疫に起因して生じた事態に対処するための手当金等の交付を受けた場合に

おける国民健康保険税の減免に関する条例

条例

■日南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■財産の取得について

その他

■平成22年4月以降において発生が確認された口蹄疫に起因して生じた事態に対処するための手当金等の交付を受けた場合に

国民健康保険事業の健全な運営を図るために、平成24年度国民健康保険税の税率等の改定を行うものです。

補正予算の概要

平成22年4月以降において発生が確認された口蹄疫に起因して生じた事態に対処するための手当金等の交付を受けた場合に

第3回定例会

平成24年度一般会計補正予算 などを可決

第3回定例会は6月11日から7月2日までの22日間開催されました。

平成24年度一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案、報告など1件、請願・陳情7件などを審議しました。

報告

■平成23年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
道路整備事業など、12件の歳出予算を翌年度に繰り越したので、地方自治法施行令の規定により、繰越計算書を作成し、報告するものです。

■宮崎建設労働者研修福祉センターの経営状況を説明する書類の提出について
いすれも平成23年度の決算報告及び平成24年度の事業計画を、地方自治法の規定により、提出するものです。

■日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について
北郷町温泉観光協会の経営状況を説明する書類の提出について

■防災公園整備事業
〔737万一千円〕
大規模な地震等の災害発生において、市民の避難場所や物資等輸送の拠点となる防災公園整備に係る調査設計を行うものです。

補正予算の主な事業



上を図るため、条例制定を視野に市内の空き家の状況を調査するものです。

■コミュニティ活性化促進事業
〔2000万円〕

住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連携及び住民自治の環境を整えるため、宝くじ助成金を財源として公民館施設やワイヤレス放送設備を整備するものです。



整備予定地の
日南振徳商業高等学校跡地



建替え予定の今町公民館

■環境対策事業
〔63万5千円〕
防災、防犯及び生活環境の向上

■「みやざきの花」産地パワーアップ推進事業
〔79万4千円〕
中山間地域での花き振興や、環境に配慮した花き生産への取組を推進し、持続可能な生産体制を構築するものです。

■学校施設開放事業

〔1006万6千円〕

市民の健康づくりを推進するとともに、児童、生徒の水泳競技力向上に寄与するため、北郷小学校屋内温水プールを開放するものです。



北郷小学校の屋内温水プール

■小・中学校空調整備事業
〔3億2525万6千円〕

消防防災体制の強化を図るため、今町自治公民館敷地内に建設されている消防団拠点施設を移転新築するものです。

可決された主な条例

■日南市立学校施設開放条例の一部を改正する条例



整備予定の南郷中学校

【中学校】
吾田東小学校、南郷中学校
【小学校】
吾田中学校、南郷小学校

児童、生徒の学習環境の向上を図るため、空調整備を行うもので。今年度は、以下の小・中学校の整備を予定しています。

【小学校】

【中学校】

■日南市企業立地促進条例の一部を改正する条例

企業立地を促進するための優遇措置の拡充に伴い、所要の改正を行うものです。



委員会審査から

付言された主な意見・要望
■議案第53号 平成24年度日南市一般会計補正予算（第1号）
【予算審査特別委員会】

防災公園整備に関し、多目的芝広場については、排水対策を十分に配慮されたい。

■住民基本台帳法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例
住民基本台帳法等の一部を改正する法律が公布され、外国人の住民が住民基本台帳法の適用対象になることに伴い、本市関係条例についてもこれに応ずる改正を行いうもので。

■議案第56号 日南市立学校施設開放条例の一部を改正する条例
【総務文教委員会】
安全管理について十分に精査された業者を指定するとともに、その後、開設した後の安全対策に努められるよう配慮されたい。

■日南市火災予防条例の一部を改正する条例
対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令等が施行され、所要の改正を行うものです。

■議案第59号 日南市企業立地促進条例の一部を改正する条例
【産業経済委員会】
今回の優遇措置拡充を市内外にも広くPRし、早期の企業立地に繋げられるよう最大限努力されたい。

対象火気設備に急速充電設備等が追加されたことに伴い、本市条例についてもこれに応ずる改正を行うものです。

審議結果一覧

※平成24年第2回臨時会、平成24年第3回定例会の審査結果を掲載しております。

番号	議案名	審議結果	
		委員会	本会議
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて	－	原案承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて	－	原案承認
報告第5号	日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	－	終了
報告第6号	北郷町温泉観光協会の経営状況を説明する書類の提出について	－	終了
報告第7号	宮崎建設労働者研修福祉センターの経営状況を説明する書類の提出について	－	終了
報告第8号	平成23年度日南市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	－	終了
議案第49号	平成24年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第50号	財産の取得について	原案可決	原案可決
議案第51号	日南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第52号	平成22年4月以降において発生が確認された口蹄疫に起因して生じた事態に対処するための手当金等の交付を受けた場合における国民健康保険税の減免に関する条例	原案可決	原案可決
議案第53号	平成24年度日南市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第54号	平成24年度日南市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第55号	日南市税条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第56号	日南市立学校施設開放条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第57号	日南市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第58号	住民基本台帳法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	原案可決
議案第59号	日南市企業立地促進条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議員提出 議案第18号	30人以下学級実現・義務教育費国庫負担2分の1復元に係る意見書	－	原案可決
陳情第9号	燃油高騰に伴う助成に関する陳情書	趣旨採択	趣旨採択
陳情第10号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第11号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円の支給を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第12号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第13号	0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに、物価指数低下による年金引き下げを行わないことを求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第14号	指定文化財に関する復元についての陳情書	不採択	不採択
陳情第15号	所得税法第56条の廃止を求める陳情書	不採択	不採択
陳情第19号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第21号	飫肥町に常設美術館の開設についての陳情書	不採択	不採択
陳情第22号	30人以下学級実現・義務教育費国庫負担2分の1復元に係る意見書の提出を求める陳情書	採択	採択
諮詢第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて ※南壽敏郎氏(再選)の推薦に同意	－	原案同意

市政を 問う！

一般質問

平成24年第3回定例会における「市政に対する一般質問」は、6月20日から25日まで（休日を除く）の4日間行われ、19人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会議会棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局（電話：0987-31-1142）までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- ①井 上 進 議員 [市長の政治姿勢について、観光施策について、住環境の整備について、公共建築物対策について]
- ②磯 江 純 一 議員 [活性化策について、住宅リフォームの現状について、ビオトープについて、サテライト導入について]
- ③福 岡 浩 一 議員 [社会保障制度について、空き家対策について、地域主権一括法について、新エネルギーとエコ対策について、教育行政について、市役所組織事務分掌について、防災全般について、東日本大震災のがれき問題について、職員の協働活動について]
- ④山 田 一 議員 [人口対策について、会社員などの消防団活動について、災害・防災対策について]
- ⑤深 川 保 典 議員 [小中学生の体力について、市職員の戦略的育成について、消防本部建設計画の見直しについて]
- ⑥坂 元 啓 一 議員 [来年の市長選について、市民所得の向上策について、大学飛び入学制度について、小学校の外国語活動必修化について、電子教材を使った教育について、電気自動車用の急速充電スタンドの設置について]
- ⑦林 一 彦 議員 [児童・幼児の安全教育について、雇用対策について、観光行政について、不用品回収について、空き家対策について]
- ⑧山 本 定 則 議員 [耕作放棄地について、道路行政について（防災関係を含む）、子育て支援について、住居表示について、アカウミガメの保護について、文化行政について]
- ⑨前 田 幸 雄 議員 [インフラ整備について、フッ化物洗口について、ガン予防について、児童、生徒の日常の安全対策について]
- ⑩黒 部 俊 泰 議員 [防災について、新公会計制度整備による財務書類公表の取り組みについて、日南市総合計画について、市政創造計画について]
- ⑪和 足 恭 輔 議員 [再生可能エネルギーによる電力の地産地消について、中心市街地活性化事業について、空き地、空き家対策について、競輪場外車券売り場の設置について]
- ⑫井 福 秀 子 議員 [子育て支援計画について、高齢者等の交通手段の確保について、地域の道路・側溝等の環境整備について]
- ⑬坂 口 義 弘 議員 [市長の政治姿勢について、教育行政について]
- ⑭中 尾 貞 美 議員 [商店会の発展策について、歴史的町並み等のあり方について、中山間地の景気対策事業について、日南の新郷土史について、郷土の偉人・小村寿太郎侯の顕彰について、地震・津波対策について、学校林売却収益の活用について、道路・河川等の整備について、林業の推進について]
- ⑮倉 岡 郁 夫 議員 [南海トラフと危機管理について、教育行政について、花立公園について、協働の推進化について]
- ⑯田 中 重 信 議員 [学校教育について、行政改革について、生活環境対策について、産業活性化について]
- ⑰松 田 謙一郎 議員 [日南串間広域不燃物処理組合の今後の運営について、市職員の居住地での自治会加入状況について、南郷町・北郷町総合支所の職員体制について]
- ⑱杉 富 正 議員 [地域の活性化について、観光行政について、鼓ヶ岳の活用について、保健・医療について]
- ⑲川 越 昇 議員 [市政創造計画の進捗について、再生可能エネルギーについて、子育て支援について、健康づくりについて、食育・地産地消の取り組みについて]

活性化策について

緑青会

井上 進 議員



市長の政治姿勢について

(問) 次期市長選に立候補するのか。

(答) 「日南市総合計画」「市政創造計画」等を達成するために、立候補する。

観光施策について

(問) 梅ヶ浜地区をサーフィン会場として整備を図れ。

(答) 用地の取得が困難と思うが、関係機関と検討をする。

(問) 登録有形文化財「花峯橋」の今後の計画はあるのか。

(答) 調査し、詳細な検討をする。

(問) 飫肥杉使用建築物の固定資産税の減免制度を図れ。

(答) 「にちなん飫肥杉の家づくり事業」による支援を実施しているので、減免制度は考えていない。

住環境の整備について

(問) フッ化物洗口の進捗状況はどうか。

(答) 「むし歯予防対策検討委員会」を設置し、具体的な対策の協議を行う。

(問) 樹林墓地の整備を図れ。

(答) 現在、整備は考えていない。
（問）合併特例債の使用できる期間内に市庁舎の改築を図れ。

(問) 耐震化等の問題があるので、早い時期に方針を決定する。

(答) 新消防庁舎の耐震対策は万全か。用途係数は5割増の設計である。

会社員などの消防団活動について

(問) 市として消防団員を雇用している会社や事業所に対して、何らかの優遇措置はできぬか。

(答) 優遇措置について直接的優遇措置はないが、消防団協力事業所表示の交付を設け、市内4事業所にしている。

災害・防災対策について

(問) 自主防災組織の活動の実態はどうか。

(答) 自主防災組織の活動については、それぞれの組織により活動の実態が異なるので、活動の有無を判断するのは困難であるが、各種訓練等には積極的に取り組んでいた、だいている。

(答) ケースワーカーの指導や、職員の聞き取り調査及び各種提出書類審査等で精査して、不正受給者が出ないようしている。不正の場合は、全額返還を請求している。

(問) 就労支援はどうしているのか。

(答) それについては、公共職業安定所と、日南地域生活福祉就労支援協議会を設置して、目標達成に尽力する。

また、8月より市の嘱託職員1名を採用して就労支援強化に努める。

(問) 災害・防災対策について

(答) その役割は認識しているが、助成制度の創設は考えていない。

(問) 市職員の地域担当者を活用した自主防災組織の充実は図れないか。

(答) 地域担当者制度の創設目的とは主旨が異なるので、現在のところ担当者制度の業務を変更することは考えていない。

(問) 自主防災組織の育成のために補助金制度創設の考えはないか。

(答) それらの育成・活動支援のため有効と思うので研究をしていく。

活性化策について

緑青会

福岡 浩一 議員



社会保障制度について

(問) 生活保護・児童扶養手当の不正受給者の取り締まりを強化する対策はしているのか。

(答) 古事記編さん1300年の歴史を、どのように活用されているのか。

(答) 昨年度から県の補助金を活用して取組んでいる。本年度は引き続きPR活動を行うとともに、新たな取組みとして市内小学6年生を対象に「古事記編さん1300年観光課外授業」を開催し、郷土を愛する心の醸成にも努めている。県においても8年後の1300年までを「古事記編さん1300年記念」と名付けて事業を展開されるので、市も今後更に連携を深めながら、神話と観光を結びつけた取組みを行う。

(問) 就労支援はどうしているのか。

(答) それについては、公共職業安定所と、日南地域生活福祉就労支援協議会を設置して、目標達成に尽力する。

また、8月より市の嘱託職員1名を採用して就労支援強化に努める。

(問) 東日本大震災以降の電力問題は、国内問題として関心が大である。循環型エネルギーとしての、木質バイオマス発電システムは、飫肥杉発祥の日南地域に最適である。地域間競争に勝ることが、市民の利益になると考えるが、綾町では、既に木質バイオマス発電を取り組もうとしている。二番煎じの感があるが、日南市民全てと企業電力を全てを何十年も賄う資源が当地にあるが利活用する考えはないか。

(答) 飫肥杉発祥の本市としては、雇用の確保はもとより、林業振興のために、積極的に調査研究する。

市長の政治姿勢について

緑青会

井上 進 議員



市長の政治姿勢について

(問) 次期市長選に立候補するのか。

(答) 「日南市総合計画」「市政創造計画」等を達成するために、立候補する。

観光施策について

(問) 梅ヶ浜地区をサーフィン会場として整備を図れ。

(答) 用地の取得が困難と思うが、関係機関と検討をする。

(問) 登録有形文化財「花峯橋」の今後の計画はあるのか。

(答) 調査し、詳細な検討をする。

(問) 飫肥杉使用建築物の固定資産税の減免制度を図れ。

(答) 「にちなん飫肥杉の家づくり事業」による支援を実施しているので、減免制度は考えていない。

住環境の整備について

(問) フッ化物洗口の進捗状況はどうか。

(答) 「むし歯予防対策検討委員会」を設置し、具体的な対策の協議を行う。

(問) 樹林墓地の整備を図れ。

(答) 現在、整備は考えていない。
（問）合併特例債の使用できる期間内に市庁舎の改築を図れ。

(問) 耐震化等の問題があるので、早い時期に方針を決定する。

(答) 新消防庁舎の耐震対策は万全か。用途係数は5割増の設計である。

活性化策について

緑青会

井上 進 議員



市長の政治姿勢について

(問) 次期市長選に立候補するのか。

(答) 「日南市総合計画」「市政創造計画」等を達成するために、立候補する。

観光施策について

(問) 梅ヶ浜地区をサーフィン会場として整備を図れ。

(答) 用地の取得が困難と思うが、関係機関と検討をする。

(問) 登録有形文化財「花峯橋」の今後の計画はあるのか。

(答) 調査し、詳細な検討をする。

(問) 飫肥杉使用建築物の固定資産税の減免制度を図れ。

(答) 「にちなん飫肥杉の家づくり事業」による支援を実施しているので、減免制度は考えていない。

住環境の整備について

(問) フッ化物洗口の進捗状況はどうか。

(答) 「むし歯予防対策検討委員会」を設置し、具体的な対策の協議を行う。

(問) 樹林墓地の整備を図れ。

(答) 現在、整備は考えていない。
（問）合併特例債の使用できる期間内に市庁舎の改築を図れ。

(問) 耐震化等の問題があるので、早い時期に方針を決定する。

(答) 新消防庁舎の耐震対策は万全か。用途係数は5割増の設計である。

活性化策について

緑青会

福岡 浩一 議員



社会保障制度について

(問) 生活保護・児童扶養手当の不正受給者の取り締まりを強化する対策はしているのか。

(答) 古事記編さん1300年の歴史を、どのように活用されているのか。

(答) 昨年度から県の補助金を活用して取組んでいる。本年度は引き続きPR活動を行うとともに、新たな取組みとして市内小学6年生を対象に「古事記編さん1300年観光課外授業」を開催し、郷土を愛する心の醸成にも努めている。県においても8年後の1300年記念と名付けて事業を展開されるので、市も今後更に連携を深めながら、神話と観光を結びつけた取組みを行う。

(問) 就労支援はどうしているのか。

(答) それについては、公共職業安定所と、日南地域生活福祉就労支援協議会を設置して、目標達成に尽力する。

また、8月より市の嘱託職員1名を採用して就労支援強化に努める。

(問) 災害・防災対策について

(答) その役割は認識しているが、助成制度の創設は考えていない。

(問) 市職員の地域担当者を活用した自主防災組織の充実は図れないか。

(答) 地域担当者制度の創設目的とは主旨が異なるので、現在のところ担当者制度の業務を変更することは考えていない。

(問) 自主防災組織の育成のために補助金制度創設の考えはないか。

(答) それらの育成・活動支援のため有効と思うので研究をしていく。

会社員などの消防団活動について

(問) 市として消防団員を雇用している会社や事業所に対して、何らかの優遇措置はないが、消防団協力事業所表示の交付を設け、市内4事業所にしている。

(答) 優遇措置について直接的優遇措置はないが、消防団協力事業所表示の交付を設け、市内4事業所にしている。

災害・防災対策について

(問) 自主防災組織の活動の実態はどうか。

(答) 自主防災組織の活動については、それぞれの組織により活動の実態が異なるので、活動の有無を判断するのは困難であるが、各種訓練等には積極的に取り組んでいた、だいている。

(問) 生活保護・児童扶養手当の不正受給者の取り締まりを強化する対策はしているのか。

(答) 古事記編さん1300年の歴史を、どのように活用されているのか。

(答) 昨年度から県の補助金を活用して取組んでいる。本年度は引き続きPR活動を行うとともに、新たな取組みとして市内小学6年生を対象に「古事記編さん1300年観光課外授業」を開催し、郷土を愛する心の醸成にも努めている。県においても8年後の1300年記念と名付けて事業を展開されるので、市も今後更に連携を深めながら、神話と観光を結びつけた取組みを行う。

(問) 就労支援はどうしているのか。

(答) それについては、公共職業安定所と、日南地域生活福祉就労支援協議会を設置して、目標達成に尽力する。

また、8月より市の嘱託職員1名を採用して就労支援強化に努める。

(問) 災害・防災対策について

(答) その役割は認識しているが、助成制度の創設は考えていない。

(問) 市職員の地域担当者を活用した自主防災組織の充実は図れないか。

(答) 地域担当者制度の創設目的とは主旨が異なるので、現在のところ担当者制度の業務を変更することは考えていない。

(問) 自主防災組織の育成のために補助金制度創設の考えはないか。

(答) それらの育成・活動支援のため有効と思うので研究をしていく。

活性化策について

緑青会

井上 進 議員



市長の政治姿勢について

(問) 次期市長選に立候補するのか。

(答) 「日南市総合計画」「市政創造計画」等を達成するために、立候補する。

観光施策について

(問) 梅ヶ浜地区をサーフィン会場として整備を図れ。

(答) 用地の取得が困難と思うが、関係機関と検討をする。

(問) 登録有形文化財「花峯橋」の今後の計画はあるのか。

(答) 調査し、詳細な検討をする。

(問) 飫肥杉使用建築物の固定資産税の減免制度を図れ。

(答) 「にちなん飫肥杉の家づくり事業」による支援を実施しているので、減免制度は考えていない。

住環境の整備について

(問) フッ化物洗口の進捗状況はどうか。

(答) 「むし歯予防対策検討委員会」を設置し、具体的な対策の協議を行う。

(問) 樹林墓地の整備を図れ。

(答) 現在、整備は考えていない。
（問）合併特例債の使用できる期間内に市庁舎の改築を図れ。

(問) 耐震化等の問題があるので、早い時期に方針を決定する。

(答) 新消防庁舎の耐震対策は万全か。用途係数は5割増の設計である。

活性化策について

緑青会

井上 進 議員



市長の政治姿勢について

(問) 次期市長選に立候補するのか。

(答) 「日南市総合計画」「市政創造計画」等を達成するために、立候補する。

観光施策について

(問) 梅ヶ浜地区をサーフィン会場として整備を図れ。

(答) 用地の取得が困難と思うが、関係機関と検討をする。

(問) 登録有形文化財「花峯橋」の今後の計画はあるのか。

(答) 調査し、詳細な検討をする。

(問) 飫肥杉使用建築物の固定資産税の減免制度を図れ。

(答) 「にちなん飫肥杉の家づくり事業」による支援を実施しているので、減免制度は考えていない。

住環境の整備について

(問) フッ化物洗口の進捗状況はどうか。

(答) 「むし歯予防対策検討委員会」を設置し、具体的な対策の協議を行う。

(問) 樹林墓地の整備を図れ。

(答) 現在、整備は考えていない。
（問）合併特例債の使用できる期間内に市庁舎の改築を図れ。

(問) 耐震化等の問題があるので、早い時期に方針を決定する。

(答) 新消防庁舎の耐震対策は万全か。用途係数は5割増の設計である。

活性化策について

緑青会

井上 進 議員



市長の政治姿勢について

(問) 次期市長選に立候補するのか。

(答) 「日南市総合計画」「市政創造計画」等を達成するために、立候補する。

観光施策について

(問) 梅ヶ浜地区をサーフィン会場として整備を図れ。

(答) 用地の取得が困難と思うが、関係機関と検討をする。

(問) 登録有形文化財「花峯橋」の今後の計画はあるのか。

(答) 調査し、詳細な検討をする。

(問) 飫肥杉使用建築物の固定資産税の減免制度を図れ。

(答) 「にちなん飫肥杉の家づくり事業」による支援を実施しているので、減免制度は考えていない。

住環境の整備について

(問) フッ化物洗口の進捗状況はどうか。

(答) 「むし歯予防対策検討委員会」を設置し、具体的な対策の協議を行う。

(問) 樹林墓地の整備を図れ。

(答) 現在、整備は考えていない。
（問）合併特例債の使用できる期間内に市庁舎の改築を図れ。

(問) 耐震化等の問題があるので、早い時期に方針を決定する。

(答) 新消防庁舎の耐震対策は万全か。用途係数は5割増の設計である。

会社員などの消防団活動について

(問) 市として消防団員を雇用している会社や事業所に対して、何らかの優遇措置はないが、消防団協力事業所表示の交付を設け、市内4事業所にしている。

(答) 優遇措置について直接的優遇措置はないが、消防団協力事業所表示の交付を設け、市内4事業所にしている。

災害・防災対策について

(問) 自主防災組織の活動の実態はどうか。

(答) 自主防災組織の活動については、それぞれの組織により活動の実態が異なるので、活動の有無を判断するのは困難であるが、各種訓練等には積極的に取り組んでいた、だいている。

(問) 生活保護・児童扶養手当の不正受給者の取り締まりを強化する対策はしているのか。

(答) 古事記編さん1300年の歴史を、どのように活用されているのか。

(答) 昨年度から県の補助金を活用して取組んでいる。本年度は引き続きPR活動を行うとともに、新たな取組みとして市内小学6年生を対象に「古事記編さん1300年観光課外授業」を開催し、郷土を愛する心の醸成にも努めている。県においても8年後の1300年記念と名付けて事業を展開されるので、市も今後更に連携を深めながら、神話と観光を結びつけた取組みを行う。

(問) 就労支援はどうしているのか。

(答) それについては、公共職業安定所と、日南地域生活福祉就労支援協議会を



日南ルネサンス
深川 保典 議員

小中学生の体力について

(問) 小中学校の卒業式で途中退席する生徒が多くて驚いた。体調不良が原因だが、体力向上への取組みはどうか。

(答) 県の「体力向上研究推進モデル校」の指定を北郷小中学校が受けており、この研究内容を他校に広げたい。

(問) 中学体育の柔道必修における事故防止のため、有段者ボランティア登録制度をつくり活用できいか。

(答) 今後、関係団体の御協力をいただきながら、研究を進めたい。

市職員の戦略的育成について

(問) 女性幹部職員の割合は5・4%で全国最低レベルである。男女共同参画社会実現のための改善策はあるか。

(答) 優秀な職員は積極的に登用する。(問) 職員の語学力アップや国際的視野を広めるための海外研修導入を求む。

消防本部建設計画について

(問) 国の中央防災会議で本市の津波高が14・1メートルと発表があった。

本計画では5メートルで想定していた。中州のような本計画地ではなく、県南唯一の防災拠点病院である県病院の隣の市有地への計画変更を求める。

(答) 国の緊急防災減災事業債を活用するので、70%は国の交付税が使える。そのために25年度末までに完成させる。



日南ルネサンス
坂元 啓一 議員

大学飛び入学制度について

(問) 文科省が、高校を2年から2年半程度で卒業できる「早期卒業制度」を導入する方針を固めた。ということだが、これに対する見解はどうか。

(答) 文科省はこれから平成25年度に詳細を検討するということなので、今後の動きを注視していきたい。

(問) この制度の対象となる生徒や高校はどういったものか。

(答) 現段階では詳細はわからない。

(問) どうやら文科省は、私立の中・高一貫校を念頭に進めているようだが、これでは公立の中・高生は、その対象外となる。そこで、市内の学校でこの制度を有効に活用する方策はないか。

(答) 制度が導入された折には、県教委等と連携しながら、中学校と高校の新しい接続のあり方について、研究していくべきたい。

小学校の外国語活動必修化について

(問) 市内の小学校現場では誰が教えているのか。

(答) 学級担任が教えている。

(問) 外国人は教えていないのか。

(答) ALT3名を雇用し、内2名は学校教育課に、1名は北郷小学校に配属している。

(問) それで十分と思われるか。

(答) 今後、検証していきたい。



日南ルネサンス
林 一彦 議員

雇用対策について

(問) 改正農地法の施行以降、一般法人の農業参入が増加している。担い手の高齢化が進み、後継者不足、耕作放棄地の増加で悩む自治体が多いなか農業法人化の推進は雇用対策としても有効であり、農業法人化の推進と既存の農業法人を含めた国、県とは別に、市独自で何らかの支援を行なう考えはないか。

(答) 国、県の支援事業等を有効に活用しながら、農業法人化の支援策を講じていく考え方であり、独自の支援策については現在のところ考えていない。

観光行政について

(問) 観光施策について、これまで議会から海釣り公園や農業体験などいろいろな提案があつた。これらを踏まえ、他の自治体との差別化を図り「おもてなしの心」を発展させるためにも、地域住民の参画を促す観光推進計画を新たに策定する考えはないか。

(答) 観光行政を進めるうえでは観光業者はもとより多くの市民の皆様が関心を高め取り組みに参加いただくことが重要であり、昨年度の観光振興計画の基礎データとなる詳細な観光動向の調査をもとに、日南市総合計画の後期基礎計画策定に併せて様々な要素を取り込んだ観光振興計画策定を行なう。



日南ルネサンス
山本 定則 議員

耕作放棄地について

(問) 耕作放棄地の解消に向けた取り組みの状況はどうなつか。

(答) 組織をあげて農地パトロールによる耕作放棄地や無断転用の指導を行なっている。特に、農地相談員2名を設置して制度事業を活用し、解消に向けた取り組みを行ない、強化を図っている。

道路行政について

(問) 夫婦浦地区の孤立化に伴う国道448号の整備についてどう考えるか。

(答) 日南市県道河川整備期成同盟会で、贊波から夫婦浦間の改良整備の要望を行なつた。結果的には本年度国道448号夫婦浦バイパスとして事業化が決定し、整備が進められることとなり市としても用地取得などについて協力していく。

(問) 国道220号と市道富士郷之原線の分岐点に道路標示板の設置ができるのか。

(答) 設置場所が視認性との関係から国道220号の敷地になるので国土交通省と協議を行なつていく。

(問) 外浦造船所通り1号線の道路新設はできないか。

(答) 日南市が道路整備を行うことは可能であることから、実施に向けて県と協議をしていく。



日南ルネサンス
山本 定則 議員



公明党日南市議団
前田 幸雄 議員

インフラ整備について

(問) 高度成長期に整備された橋梁や下水道管が40年から50年を経過し老朽化が考えられる。今後の取り組みや計画はどうなっているのか。

(答) 本市が管理する橋梁は423あるが50年経過した橋が多い。平成23年度より3カ年で「日南市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し対策を行う。

(問) 下水道管整備の状況はどうか。

(答) 長寿命化計画を策定している。調査、検討した結果、油津1号幹線を本年度から整備する計画である。

FF化物洗口について

(問) 検討委員会の進捗状況はどうか。

(答) 本年7月より開始する。委員は、学校歯科医、養護教諭、保護者、こども課職員等の代表18名である。

(問) 委員会設置の期間はどの程度か。

(答) 約2年間を予定している。1年目は、総合的な調査を行い、2年目は、実施モデル校での状況確認などを行う。

ガソリン予防について

(問) 胃ガソリンの原因と言われるピロリ菌の有無が、血液検査法で確認できる。検診の導入はできないのか。

(答) 現時点では考えていない。

児童や生徒の日常安全対策について

(問) 危険個所の掌握はされているか。

(答) 独自に点検作業を行っている。

防災について

(問) 油津中学校は海岸から近く、東日本大震災以来、津波避難訓練に取り組んでおられる。しかし安全な避難場所が確保できていない。現在は、校舎の3階に避難されている。教育長にも現場を観察していただき、生徒に寄り添った対策をお願いしたいがどうか。

(答) 実際に中学校の現場を見て、対策を検討する。

(問) 東日本大震災の教訓として、女性の視点から見た防災計画・防災対策の重要性が浮かび上がった。防災に対する、女性の参画状況はどうか。

(答) 日南市防災会議に女性委員はまだ1人も参画されていないし危機管理課に女性の配置はしていない。できるだけ早期に、女性が防災への取り組みに参画できるよう対策を講じていく。

市政創造計画について

(問) 市の職員適正化計画は合併10後・平成31年の人口を約5万6千人と予測し策定されているが、すでに市の人口は5万6千500人に減少している。人口に応じた職員数の適正化が重要である。国や県が示している人口統計に基づいた計画を実施されなければ、市民は納得されないと考える。見直しをするべきではないか。

(答) 計画の見直しはしない。



日本共産党日南市議団
和足 恭輔 議員

自然エネルギーの地産地消について

(問) 長野県飯田市の初期投資がゼロ円で住宅用太陽光パネルが設置できる「おひさまゼロ円システム」を導入する考え方はないか。

(答) 宮崎県では低金利の太陽光発電の融資制度を各金融機関が行つており、「おひさまゼロ円システム」が設置者にとって必ずしも負担軽減とはならないので、システム導入は考えていない。

(問) 基本計画の認定に至らないのは、計画自体に問題があると思うが、今後国による計画認定はどうなるのか。

(答) 住民ニーズを幅広く調査することで、事業の内容と事業実施の確実性を高めること等、国から指摘された諸点を解消し、本年11月の認定をめざす。

中心市街地活性化事業について

(問) 基本計画の認定に至らないのは、計画自体に問題があると思うが、今後国による計画認定はどうなるのか。

(答) 住民ニーズを幅広く調査することで、事業の内容と事業実施の確実性を高めること等、国から指摘された諸点を解消し、本年11月の認定をめざす。

(問) 民間事業の複合ビル計画の青写真はできているのか。

(答) 施設の内容として、市街地に不足する商業を補完する商業施設、子育て支援施設、複数の診療施設、利便性の高い住居施設、住宅型有料老人ホームなどが計画されている。

(問) コミュニティバス運行の要望が多いが計画はどうなっているか。

(答) 地域の要望に対応していきたい。

(問) 運転免許証の返納メリットはバスやタクシー運賃の割引にできなか。

(答) バスが走っていない地域もあり公平性を考えると難しい面がある。

競輪場外車券売り場の設置について

(問) これ以上のギャンブル施設はいらないと表明すべきだ。

(答) まずは、設置予定者が実施中の住民各団体への説明会を注視したい。

子育て支援計画について

(問) 相生市は「子育て応援都市」を宣言し、中学校卒業までの医療費無料化や幼・小・中の給食費無料化、若者定住促進奨励金交付など、積極的な子育て、定住化施策を展開している。本市も、子育て応援都市宣言をし、思い切った子育て支援をする考えはないか。

(答) 宣言については考えていない。

(問) 今後の子育て支援の年次計画は具体的にどうなっているか。

(答) 総合・次世代育成行動計画を基本に子育て環境整備に努める。提案された子育て支援策は、今後検討する。

(問) 合併前の北郷町の外出支援サービス事業は大変好評だったが、再度事業を復活させる考えはないか。

(答) 復活する考えはない。

(問) コミュニティバス運行の要望が多いが計画はどうなっているか。

(答) 地域の要望に対応していきたい。

(問) 運転免許証の返納メリットはバスやタクシー運賃の割引にできなか。

(答) バスが走っていない地域もあり公平性を考えると難しい面がある。

(問) 地域の道路側溝等の環境整備について

(答) 吾田東9丁目のJR線路近くの道路拡張はどうなっているか。

(答) 整備は必要。手法を検討する。



公明党日南市議団
井福 秀子 議員



公明党日南市議団
前田 幸雄 議員

インフラ整備について

(問) 高度成長期に整備された橋梁や下水道管が40年から50年を経過し老朽化が考えられる。今後の取り組みや計画はどうなっているのか。

(答) 本市が管理する橋梁は423あるが50年経過した橋が多い。平成23年度より3カ年で「日南市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し対策を行う。

(問) 下水道管整備の状況はどうか。

(答) 長寿命化計画を策定している。

調査、検討した結果、油津1号幹線を

本年度から整備する計画である。

FF化物洗口について

(問) 検討委員会の進捗状況はどうか。

(答) 本年7月より開始する。委員は、学校歯科医、養護教諭、保護者、こども課職員等の代表18名である。

(問) 委員会設置の期間はどの程度か。

(答) 約2年間を予定している。1年目は、総合的な調査を行い、2年目は、実施モデル校での状況確認などを行う。

ガソリン予防について

(問) 胃ガソリンの原因と言われるピロリ菌の有無が、血液検査法で確認できる。検診の導入はできないのか。

(答) 現時点では考えていない。

児童や生徒の日常安全対策について

(問) 危険個所の掌握はされているか。

(答) 独自に点検作業を行っている。

防災について

(問) 東日本大震災の教訓として、女性の視点から見た防災計画・防災対策の重要性が浮かび上がった。防災に対する、女性の参画状況はどうか。

(答) 日南市防災会議に女性委員はまだ1人も参画されていないし危機管理課に女性の配置はしていない。できるだけ早期に、女性が防災への取り組みに参画できるよう対策を講じていく。

市政創造計画について

(問) 市の職員適正化計画は合併10後・平成31年の人口を約5万6千人と予測し策定されているが、すでに市の人口は5万6千500人に減少している。人口に応じた職員数の適正化が重要である。国や県が示している人口統計に基づいた計画を実施されなければ、市民は納得されないと考える。見直しをするべきではないか。

(答) 計画の見直しはしない。



日本共産党日南市議団
和足 恭輔 議員

自然エネルギーの地産地消について

(問) 長野県飯田市の初期投資がゼロ円で住宅用太陽光パネルが設置できる「おひさまゼロ円システム」を導入する考え方はないか。

(答) 宮崎県では低金利の太陽光発電の融資制度を各金融機関が行つており、「おひさまゼロ円システム」が設置者にとって必ずしも負担軽減とはならぬので、システム導入は考えていない。

(問) 基本計画の認定に至らないのは、計画自体に問題があると思うが、今後国による計画認定はどうなるのか。

(答) 住民ニーズを幅広く調査することで、事業の内容と事業実施の確実性を高めること等、国から指摘された諸点を解消し、本年11月の認定をめざす。

中心市街地活性化事業について

(問) 基本計画の認定に至らないのは、計画自体に問題があると思うが、今後国による計画認定はどうなるのか。

(答) 住民ニーズを幅広く調査することで、事業の内容と事業実施の確実性を高めること等、国から指摘された諸点を解消し、本年11月の認定をめざす。

(問) 民間事業の複合ビル計画の青写真はできているのか。

(答) 施設の内容として、市街地に不足する商業を補完する商業施設、子育て支援施設、複数の診療施設、利便性の高い住居施設、住宅型有料老人ホームなどが計画されている。

(問) コミュニティバス運行の要望が多いが計画はどうなっているか。

(答) 地域の要望に対応していきたい。

(問) 運転免許証の返納メリットはバスやタクシー運賃の割引にできなか。

(答) バスが走っていない地域もあり公平性を考えると難しい面がある。

競輪場外車券売り場の設置について

(問) これ以上のギャンブル施設はいらないと表明すべきだ。

(答) まずは、設置予定者が実施中の住民各団体への説明会を注視したい。



公明党日南市議団
井福 秀子 議員

インフラ整備について

(問) 高度成長期に整備された橋梁や下水道管が40年から50年を経過し老朽化が考えられる。今後の取り組みや計画はどうなっているのか。

(答) 本市が管理する橋梁は423あるが50年経過した橋が多い。平成23年度より3カ年で「日南市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し対策を行う。

(問) 下水道管整備の状況はどうか。

(答) 長寿命化計画を策定している。

調査、検討した結果、油津1号幹線を

本年度から整備する計画である。

FF化物洗口について

(問) 検討委員会の進捗状況はどうか。

(答) 本年7月より開始する。委員は、学校歯科医、養護教諭、保護者、こども課職員等の代表18名である。

(問) 委員会設置の期間はどの程度か。

(答) 約2年間を予定している。1年目は、総合的な調査を行い、2年目は、実施モデル校での状況確認などを行う。

ガソリン予防について

(問) 胃ガソリンの原因と言われるピロリ菌の有無が、血液検査法で確認できる。検診の導入はできないのか。

(答) 現時点では考えていない。

児童や生徒の日常安全対策について

(問) 危険個所の掌握はされているか。

(答) 独自に点検作業を行っている。

防災について

(問) 東日本大震災の教訓として、女性の視点から見た防災計画・防災対策の重要性が浮かび上がった。防災に対する、女性の参画状況はどうか。

(答) 日南市防災会議に女性委員はまだ1人も参画されていないし危機管理課に女性の配置はしていない。できるだけ早期に、女性が防災への取り組みに参画できるよう対策を講じていく。

(問) 東日本大震災の教訓として、女性の視点から見た防災計画・防災対策の重要性が浮かび上がった。防災に対する、女性の参画状況はどうか。

(答) 宮崎県では低金利の太陽光発電の融資制度を各金融機関が行つており、「おひさまゼロ円システム」が設置者にとって必ずしも負担軽減とはならぬので、システム導入は考えていない。

(問) 基本計画の認定に至らないのは、計画自体に問題があると思うが、今後国による計画認定はどうなるのか。

(答) 住民ニーズを幅広く調査することで、事業の内容と事業実施の確実性を高めること等、国から指摘された諸点を解消し、本年11月の認定をめざす。

(問) 基本計画の認定に至らないのは、計画自体に問題があると思うが、今後国による計画認定はどうなるのか。

(答) 住民ニーズを幅広く調査することで、事業の内容と事業実施の確実性を高めること等、国から指摘された諸点を解消し、本年11月の認定をめざす。

(問) 民間事業の複合ビル計画の青写真はできているのか。

(答) 施設の内容として、市街地に不足する商業を補完する商業施設、子育て支援施設、複数の診療施設、利便性の高い住居施設、住宅型有料老人ホームなどが計画されている。

(問) コミュニティバス運行の要望が多いが計画はどうなっているか。

(答) 地域の要望に対応していきたい。

(問) 運転免許証の返納メリットはバスやタクシー運賃の割引にできなか。

(答) バスが走っていない地域もあり公平性を考えると難しい面がある。

競輪場外車券売り場の設置について

(問) これ以上のギャンブル施設はいらないと表明すべきだ。

(答) まずは、設置予定者が実施中の住民各団体への説明会を注視したい。



公明党日南市議団
井福 秀子 議員

インフラ整備について

(問) 高度成長期に整備された橋梁や下水道管が40年から50年を経過し老朽化が考えられる。今後の取り組みや計画はどうなっているのか。

(答) 本市が管理する橋梁は423あるが50年経過した橋が多い。平成23年度より3カ年で「日南市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し対策を行う。

(問) 下水道管整備の状況はどうか。

(答) 長寿命化計画を策定している。

調査、検討した結果、油津1号幹線を

本年度から整備する計画である。

FF化物洗口について

(問) 検討委員会の進捗状況はどうか。

(答) 本年7月より開始する。委員は、学校歯科医、養護教諭、保護者、こども課職員等の代表18名である。

(問) 委員会設置の期間はどの程度か。

(答) 約2年間を予定している。1年目は、総合的な調査を行い、2年目は、実施モデル校での状況確認などを行う。

ガソリン予防について

(問) 胃ガソリンの原因と言われるピロリ菌の有無が、血液検査法で確認できる。検診の導入はできないのか。

(答) 現時点では考えていない。

児童や生徒の日常安全対策について

(問) 危険個所の掌握はされているか。

(答) 独自に点検作業を行っている。

防災について

(問) 東日本大震災の教訓として、女性の視点から見た防災計画・防災対策の重要性が浮かび上がった。防災に対する、女性の参画状況はどうか。

(答) 日南市防災会議に女性委員はまだ1人も参画されていないし危機管理課に女性の配置はしていない。できるだけ早期に、女性が防災への取り組みに参画できるよう対策を講じていく。

(問) 東日本大震災の教訓として、女性の視点から見た防災計画・防災対策の重要性が浮かび上がった。防災に対する、女性の参画状況はどうか。

(答) 宮崎県では低金利の太陽光発電の融資制度を各金融機関が行つており、「おひさまゼロ円システム」が設置者にとって必ずしも負担軽減とはならぬので、システム導入は考えていない。

(問) 基本計画の認定に至らないのは、計画自体に問題があると思うが、今後国による計画認定はどうなるのか。

(答) 住民ニーズを幅広く調査することで、事業の内容と事業実施の確実性を高めること等、国から指摘された諸点を解消し、本年11月の認定をめざす。

(問) 基本計画の認定に至らないのは、計画自体に問題があると思うが、今後国による計画認定はどうなるのか。

(答) 住民ニーズを幅広く調査することで、事業の内容と事業実施の確実性を高めること等、国から指摘された諸点を解消し、本年11月の認定をめざす。

(問) 民間事業の複合ビル計画の青写真はできているのか。

(答) 施設の内容として、市街地に不足する商業を補完する商業施設、子育て支援施設、複数の診療施設、利便性の高い住居施設、住宅型有料老人ホームなどが計画されている。

(問) コミュニティバス運行の要望が多いが計画はどうなっているか。

(答) 地域の要望に対応していきたい。

(問) 運転免許証の返納メリットはバスやタクシー運賃の割引にできなか。

(答) バスが走っていない地域もあり公平性を考えると難しい面がある。

競輪場外車券売り場の設置について

(問) これ以上のギャンブル施設はいらないと表明すべきだ。

(答) まずは、設置予定者が



改政クラブ
坂口 義弘 議員

市長の政治姿勢について

(問) 震災がれき処理の対応はどうか。

(答) 焚却施設と、日南・串間広域不燃物処理組合の最終処分場は、受け入れ余力がない。今後、宮崎県、市町村連携推進会議等で、意見交換や情報交換等を行っていきたい。

(問) 相次ぐ、大型客船の油津入港、市内に波及する経済効果はどうか。

(答) 本市への効果はバス及びタクシ一の事業者、飲食店、焦点、物産販売業者、観光施設等、直接的な効果を受けた。加えて、客船の乗客を募集するための、中国国内、世界各地での本市のPRなど、これまでにない広いエリートで広報ができることも、相当な経済効果と考えている。次年度以降の寄港も積極的に働きかけていきたい。

(教育行政について)

(問) 学校で新聞を活用する授業はどこまで進んでいるか。

(答) 今回の学習指導要領改訂で新聞を教材にする学習が加わった。小学校6年生社会科では、ニュースや新聞から、政治や憲法に関連したことを話し合う学習が設定されている。中学校2・3年生の国語科では、新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を、比較する学習が設定されている。



改政クラブ
中尾 貞美 議員

商店会の発展策について

(問) 北郷、南郷商工会との意見交換を行い、商工会の現実を言われたが、このような中で商店会の発展策はないのか。

(答) 商業をはじめ、観光業などの関係者との連携を図り、商業の活性化に努めて参りたい。

歴史的町並み等のあり方について

(問) 歴史的風致維持向上計画については、飫肥城下町や泰平踊、坂元棚田、鶴戸神宮など歴史的建造物や伝統文化を選定とあり、どのような計画か。

(答) 飫肥重要伝統的建造物保存地区を中心とした重点区域を設定して、飫肥城下町の歴史的風致を向上させるための各種事業を予定している。

道路、河川の整備について

(問) 楠原川の土砂撤去と再整備はできないか。

(答) ホタル護岸については、土砂に埋まっている、撤去を検討する。

林業の推進について

(問) にちなん飫肥杉プレゼント事業については、引き続きこの事業を続けることは出来ないか。

(答) この事業継続等も含めた需要拡大の方法等につきましては、この2年間の実績を踏まえ、木材関係団体と協議して参りたい。

(教育行政について)

(問) 学校で新聞を活用する授業はどこまで進んでいるか。

(答) 今回の学習指導要領改訂で新聞を教材にする学習が加わった。小学校6年生社会科では、ニュースや新聞から、政治や憲法に関連したことを話し合う学習が設定されている。中学校2・3年生の国語科では、新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を、比較する学習が設定されている。



改政クラブ
倉岡 郁夫 議員

南海トラフと危機管理について

(問) 災害時ににおける、住民の情報管理・保管の観点から、自治体クラウドを取り入れる考えはないのか。

(答) 日南地域以外の遠隔地にシステムや重要なデータを保管する自治体クラウドについては、有効な手段と考えている。県内でも導入する自治体ができており、これらの先進事例を参考に研究していく。

(問) 飫肥小、吾田東小の2校で実施効果と課題を検証し、他校への導入拡大を検討する。

(答) 飫肥小、吾田東小の2校で実施効果と課題を検証し、他校への導入拡大を検討する。

PTA会費について

(問) 旧北郷中学校跡地の、その後の利用計画と進捲状況はどうか。

(答) 旧北郷中学校跡地利用計画については、野球のできる多目的広場とグランドゴルフ等のできる芝広場として整備を行う。進捲状況については、測量設計終了後、工事を発注し、平成24年度末に完成予定である。

花立公園土地の無償貸し付けについて

(問) 平成6年10月1日から約18年間、ジェイズ北郷リゾート株式会社への土地の無償貸し付けが続いている。来年3月31日の期限が迫っているが、今後はどうするのか。

(答) 無償貸し付け期間終了後については、契約書上で有償貸し付けに成ることになっているので、ジェイズ北郷リゾート株式会社も十分承知のことと思う。



改政クラブ
田中 重信 議員

学校教育について

(問) 学校図書の充実は図られたか。

(答) 「戸村文庫」の活用や、文科省の整備計画を踏まえ、蔵書の充実を図る。

南海トラフと危機管理について

(問) 校庭天然芝化の状況はどうか。

(答) 飫肥小、吾田東小の2校で実施効果と課題を検証し、他校への導入拡大を検討する。

(問) 学校経費への充當など不適正なPTA会費流用はないか。

(答) 調査の結果、修理費や消耗品、給食費未納への流用などはない。

行政改革について

(問) 住民自治の観点から、常設型住民投票制を導入すべきではないか。

(答) 常設型では、十分な話し合いが行われないなど制度乱用の可能性もある。住民の代表である議員による住民意思の反映が有効である。

(問) 議会付言には対応したか。

(答) 合併後の意見・要望の64件についてすべて対応した。

生活環境対策について

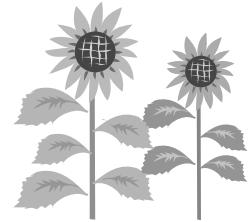
(問) 自治会連合会からの平成23年度要望事項をどのように処理したか。

(答) 14件の内、実施7件、国県への要望2件、今後検討ほか5件である。

(教育行政について)

(問) 学校で新聞を活用する授業はどこまで進んでいるか。

(答) 今回の学習指導要領改訂で新聞を教材にする学習が加わった。小学校6年生社会科では、ニュースや新聞から、政治や憲法に関連したことを話し合う学習が設定されている。中学校2・3年生の国語科では、新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を、比較する学習が設定されている。



新生日南会
松田謙一郎 議員

日南串間広域不燃物処理組合の今後の運営について

(問) 民間に委託する考えはないか。

(答) 組合業務の民間委託については、本市単独での検討、もしくは判断できる課題ではないと考える。

市職員の居住地での自治会加入状況について

(問) 職員の自治会加入に対し、調査したことがあるか。

(答) 調査は毎年行っているので、今後も実施し、職員の自治会加入や地域活動推進に役立っていく。

南郷町・北郷町総合支所の職員体制について

(問) 年々職員が少なくなっていくようだが、住民サービスはできるのか。

(答) 本庁一元化に伴い、各種申請については、基本的に本庁で審査認定等の事務を実施し、総合支所においては、受付のみになっているので、住民サービスの低下にならないように努めている。



新生日南会
杉富 正 議員

観光行政について

(問) 旧楠原ゴルフ場跡地の活用策はないのか。

(答) 様々な情報が、各方面からあるが、誘致に至る有力なものはない。

健康づくりについて

(問) 平成23年度の各種健康教室への参加実績はどうだったのか。

(答) 8880人の参加者で、前年度と比較して、約15%の増になつていて、乱杭野の活用とパラグライダー発進場の整備はどうなつてているのか。

(答) 発進場の整備は、風力発電の設置が決まるとき、新たな展開が開けると考えている。

再生可能エネルギーについて

(問) 日高嶋工業団地の企業誘致の動きはないのか。

(答) 消防救急通信指令システムを配備した庁舎や、訓練棟を整備する。

市政創造計画の進捗について

(問) 平成23年度の改革効果額はいくらか。

(答) 概算で約1億7千万円の節減を見込んでいる。

小水力発電導入について

(問) 小水力発電導入に向けての今後の計画はどうなつてているのか。

(答) 本年度は、導入の可能性について調査研究中で、今後は投資効果や維持管理体制を検討し、収益性の確保が図られる候補地の絞り込みを行う。

子育て支援について

(問) ファミリーサポートセンターの設立時期はいつなのか。

(答) 来年4月開設を目指し、子育て支援ネットワーク協議会に設立準備をお願いしている。

食育・地産地消の取り組みについて

(問) 本市の食育・地産地消推進計画の策定はどうなつてているのか。

(答) 本年度中に策定する。

(問) 学校給食の県産品使用割合は何%か。

(答) 県内の食材は、約35%である。

インターネットで議会の一般質問などを見ることができます。

日南市議会 **検索**



議会をもっと身近に
本会議は、簡単な手続きで議会を傍聴することができます。
ぜひ、傍聴にお越し下さい。



新生日南会
川越 昇 議員

防災拠点施設について

(問) 周辺自治会での説明会の開催要望を受けたので、今後、地元住民への説明責任をどう考えているのか。

(答) 防災計画は不安材料が多いと思うが、再度見直す考えはないのか。

(答) 建設計画見直しの考えはない。

再生可能エネルギーについて

(問) 防災拠点施設を整備するとなれば、今後の計画はどう考えているのか。

(答) 消防救急通信指令システムを配備した庁舎や、訓練棟を整備する。

市政創造計画の進捗について

(問) 平成23年度の改革効果額はいくらか。

(答) 概算で約1億7千万円の節減を見込んでいる。

小水力発電導入について

(問) 小水力発電導入に向けての今後の計画はどうなつてているのか。

(答) 本年度は、導入の可能性について調査研究中で、今後は投資効果や維持管理体制を検討し、収益性の確保が図られる候補地の絞り込みを行う。

子育て支援について

(問) ファミリーサポートセンターの設立時期はいつなのか。

(答) 来年4月開設を目指し、子育て支援ネットワーク協議会に設立準備をお願いしている。

健康づくりについて

(問) 平成23年度の各種健康教室への参加実績はどうだったのか。

(答) 8880人の参加者で、前年度と比較して、約15%の増になつていて、乱杭野の活用とパラグライダー発進場の整備はどうなつてているのか。

(答) 発進場の整備は、風力発電の設置が決まるとき、新たな展開が開けると考えている。

総務文教委員会 行政視察報告

■ 岐阜県関市
・防災バス「あんしん号」、デマンドバスについて
 全国初の防災バスを導入した経緯や運行状況について説明を受けました。緊急時の消防団員等の休息や現地災害対策本部となつたり、通常は防災教育のために研修等も行われています。

また、デマンド（予約）バスについての運行についても研修を受けました。



防災バス・あんしん号

緊急時の消防団員等の休息や現地災害対策本部となつたり、通常は防災教育のために研修等も行われています。

また、デマンド（予約）バスについての運行についても研修を受けました。

■ 岐阜県関市
・防災バス「あんしん号」、デマンドバスについて

また、地震に対する防災対策を体系化した各項目ごとに役割を分類し担当課を決定するアクションプログラムを策定していました。内容についても研修を受けました。



災害用マンホールトイレ

■ 京都府長岡京市
・災害用マンホールトイレ整備工事について
 避難所生活でのライフライン最大の課題であるトイレの確保問題を解決するための事業について説明を受けました。



橿原市での研修のようす

また、地震に対する防災対策を体系化した各項目ごとに役割を分類し担当課を決定するアクションプログラムを策定していました。内容についても研修を受けました。

■ 奈良県橿原市
・消防団拠点施設整備事業及び地震防災対策アクションプログラムについて
 総合運動公園内に、消防団拠点施設を整備している状況について、目的、整備内容等について研修を受けました。

■ 山形県新庄市
・わらすこ広場の運営状況について
 山形県新庄市では、子育て交流広場の「わらすこ」（あちらの方言でかわいいこどもの意味）広場を視察しました。



現地視察
(震災がれき処理のようす)

宮城県塩竈市では、東日本大震災では大量に発生した震災がれきの処理状況について視察しました。まず、担当者から現状等について説明を受け、がれきの処理現場を視察しました。



上山市での研修のようす

■ 山形県上山市
・まちづくりセンターを核とした協働によるまちづくり推進事業について
 山形県上山市では、協働によるまちづくり推進事業を視察しました。さまざまな市民活動の推進に力を入れており、特に、まちづくり・ボランティア団体の育成に力を入れております。市民のまちづくり活動の拠点となっている、「上山市まちづくりセンター」を視察させていただき、活動状況等について説明を受けました。



現地視察（「わらすこひろば」のようす）

厚生委員会 行政視察報告

■ 宮城県塩竈市
・震災がれきの処理状況について

宮城県塩竈市では、東日本大震災では大量に発生した震災がれきの処理状況について視察しました。まず、担当者から現状等について説明を受け、がれきの処理現場を視察しました。

厚生委員会 行政視察報告



上山市での研修のようす

■ 山形県上山市
・まちづくりセンターを核とした協働によるまちづくり推進事業について
 山形県上山市では、協働によるまちづくり推進事業を視察しました。さまざまな市民活動の推進に力を入れており、特に、まちづくり・ボランティア団体の育成に力を入れております。市民のまちづくり活動の拠点となっている、「上山市まちづくりセンター」を視察させていただき、活動状況等について説明を受けました。



現地視察（「わらすこひろば」のようす）

産業経済委員会 行政視察報告

■長野県松本市

- ・小水力発電事業の取組みについて

松本市では、再生可能エネルギーとしての小水力発電活用事業について研修を受けました。水力発電導入の経緯およびその効果等について説明を受けました。



現地視察 (波田水車)

■山梨県都留市

- ・小水力発電事業の取組みについて

都留市では、豊富な水源を利 USE し、市民参加型の小水力発電事業への取組みについて研修を受けました。



南足柄市での研修のようす



現地視察 (都留市家中川小水力市民発電所「元気くん1号」)

■神奈川県南足柄市

- ・「足柄花紀行」による地域おこしについて

南足柄市では、市民と行政が一体となって取り組まれ、観光客の増加に実績をあげている「足柄花紀行」について研修を受けました。

市民主導で進めてられてきた事業の経緯及び行政の関わり等について説明を受けました。

■大阪府富田林市

- ・PFI方式を導入した市設置型浄化槽整備推進事業について

富田林市では、PFI方式を導入した市設置型浄化槽整備推進事業について研修を受けました。PFIのメリットや導入経緯などについて説明を受けました。



富田林市での研修のようす

■長野県南木曽町

- ・妻籠宿の町並み保存について

南木曽町では、本市の飫肥地区と同じく、国的重要伝統的建造物群保存地区に選定されている、妻籠宿の町並み保存について研修を受けました。



現地視察 (小布施町議会の小渕議長から説明を受ける)

■長野県小布施町

- ・町並み修景事業について

小布施町は長野市に隣接する人口約1万2000人の町ですが、年間約100万人の観光客が訪れます。そのまちづくりの中心である町並み修景事業について説明を受けました。



現地視察 (妻籠宿の町並み)

「保存することが開発である」という理念のもと、住民憲章や条例を制定していることなどの説明を受けました。

建設水道委員会 行政視察報告

■大阪府富田林市

- ・PFI方式を導入した市設置型浄化槽整備推進事業について

富田林市では、PFI方式を導入した市設置型浄化槽整備推進事業について研修を受けました。PFIのメリットや導入経緯などについて説明を受けました。



富田林市での研修のようす

■長野県南木曽町

- ・妻籠宿の町並み保存について

南木曽町では、本市の飫肥地区と同じく、国的重要伝統的建造物群保存地区に選定されている、妻籠宿の町並み保存について研修を受けました。



現地視察 (小布施町議会の小渕議長から説明を受ける)

■長野県小布施町

- ・町並み修景事業について

小布施町は長野市に隣接する人口約1万2000人の町ですが、年間約100万人の観光客が訪れます。そのまちづくりの中心である町並み修景事業について説明を受けました。



現地視察 (妻籠宿の町並み)

議会日誌

(4月から6月・抜粋)

【4月】

- 18日 建設水道委員会所管事務調査
議会だより編集委員会
- 23日 緑青会会派視察
(名取市、亘理町 25日まで)
- 26日 九州市議会議長会 (宮崎市)

【5月】

- 9日 厚生委員会行政視察
(塩竈市、新庄市、上山市 11日まで)
- 建設水道委員会行政視察
(富田林市、南木曽町、小布施町
11日まで)
- 15日 宮崎県市議会議長会定期総会
産業経済委員会行政視察
(松本市、都留市、南足柄市
17日まで)
- 山形県鶴岡市議会が行政視察のため来訪
- 16日 総務文教委員会行政視察
(関市、樅原市、長岡京市 18日まで)
- 栃木県大田原市議会が行政視察のため来訪
- 23日 全国市議会議長会
- 24日 議会運営委員会
- 31日 全員協議会
第2回臨時会開会

【6月】

- 4日 議会運営委員会
- 11日 議会運営委員会
全員協議会
第3回定例会 開会
- 議会だより編集委員会
- 12日 本会議 (質疑)
- 20日 本会議
(一般質問 20~22日、25日まで)
- 26日 委員会審査 (26日)

トピックス

永年勤続議員表彰伝達式が行われました

去る5月23日、第88回全国市議会議長会定期総会において、長年にわたり市政の発展に尽くされた功績により、坂元啓一議員、松本弘議員、中尾貞美議員の3名が永年勤続10年以上の表彰を受け、6月11日の本会議開会前に伝達式が行われました。

中尾貞美議員
坂元啓一議員
松本弘議員
伝達式のようす (左から)



■第4回(9月)定例会の予定■

- 9月10日 開会、本会議
- 11日 本会議 (質疑)
- 20日 本会議 (一般質問)
- 21日 本会議 (一般質問)
- 24日 本会議 (一般質問)
- 25日 本会議 (一般質問)
- 26日 委員会審査
- 27日 委員会審査
- 28日 委員会審査
- 10月2日 閉会

*日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更になることがあります。



編集作業のようす

議会だより編集委員会

今年の6月は、梅雨の時期とはいえ猛烈な集中豪雨に見舞われ、市内のいたる所で土砂災害が発生し、市民生活に大きな影響を及ぼしました。幸い、人的な被害はありませんでしたが、津波の防災対策と同じく、集中豪雨に対する防災対策の重要性をあらためて認識が活発に行われました。また議会だよりの編集は、文字を大きくしたり、配色などの工夫をすすめています。今後も、より多くの市民の皆さんに、手に取つて読んでいただけるよう、議会だよりの編集に努めてまいります。

八編集後記